



学校だより

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

令和 7 年 9 月 3 0 日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162
電話：551-0249

学校の伝統を紡ぐ

副校長 中村 将行

9月26日（金）に4年と6年で藍染め教室を行いました。4年生は手ぬぐいを、6年生はTシャツを染め上げました。昨年度もこの時期に行っており、「もう1年経ったのか」と感じながら子供たちが藍染めをする様子を見ていました。藍染めの模様を作るため、どの子も事前に輪ゴムなどで布を絞り、藍染めに臨みました。藍染め体験で布を染め上げた子供たち。模様の出方は一人一人異なり、自分だけの作品が完成し、オリジナルができた喜びに笑顔が広がりました。この藍染めの手ぬぐいやTシャツを身に付けて、運動会の演技を披露します。



4年生が藍染めをしている6時間目の時、ちょうど1年生の下校時刻となりました。1年生が藍染めをしている上級生をじっと見ていました。私が「どうしたの」と声をかけるとその子は「何をしているの？」と私に尋ねたので、「藍染めをしているんだよ。この染めた布を運動会で身に付けて踊ったりするんだよ。」と答えました。「私もできるの？」と聞いてきたので「4年生になったらできるよ。」と伝えると「やった！！たのしみだな！」と言いながら帰っていきました。



本年度も折り返しを過ぎ、残り半年となりました。これから子供たちは、運動会や学習発表会などを通して、多くの経験を積み重ねていきます。一つ一つの行事や日々の学びの積み重ねこそが「学校の伝統」を形づくる基盤となります。伝統は決して一朝一夕に築かれるものではなく、子供たち、教職員、そして地域や保護者の皆様が共に時間をかけて育むものです。

例えば、先輩から後輩へと受け継がれる和太鼓の演奏や運動会での応援の姿、演技や演奏に臨む一体感など、どれも学校の風土を彩る大切な場面です。今年度も、学級や学年を越えて互いに支え合い、子供たちが「この学校で学んでよかった」と感じられるような取り組みを重ねていきます。そうした積み重ねが、やがて学校全体の誇りや伝統となっていきます。

残りの半年間は、子供たちの努力が結実する大切な時期です。子供たち一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間と協力し合う中で、より豊かな成長を遂げていくことを期待しています。教職員もまた、教育活動を振り返り、改善と工夫を重ねることで、次年度へとつながるよりよい学校づくりを目指してまいります。

学校の伝統は「過去の積み重ね」であると同時に、「未来への贈り物」でもあります。残り半年、子供たちと共に一日一日を大切に過ごし、この学校ならではの伝統をさらに深めていきたいと思ひます。